

3 日常生活について

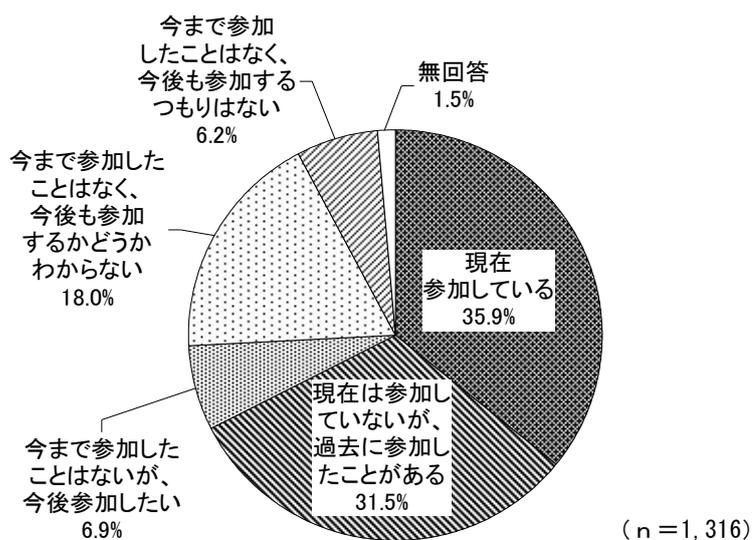
(1) 社会貢献活動について

問6 あなたは、社会貢献活動（※）に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集や公園清掃などの活動、ボランティアやNPO（非営利活動団体）活動、コミュニティ活動、自治会、育成会等の地域活動などを言います。

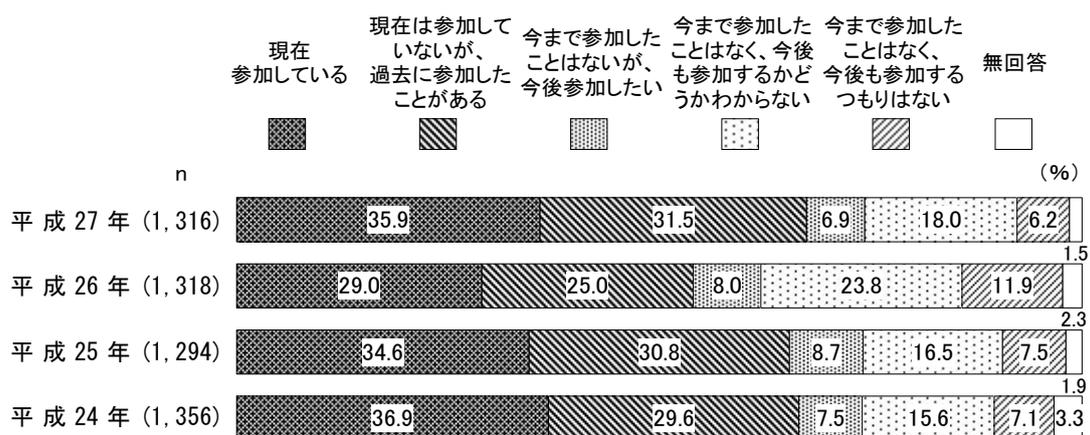
[n=1,316]

1 現在参加している	35.9%
2 現在は参加していないが、過去に参加したことがある	31.5
3 今まで参加したことはないが、今後参加したい	6.9
4 今まで参加したことはないが、今後も参加するかどうか分からない	18.0
5 今まで参加したことはないが、今後も参加するつもりはない	6.2
(無回答)	1.5



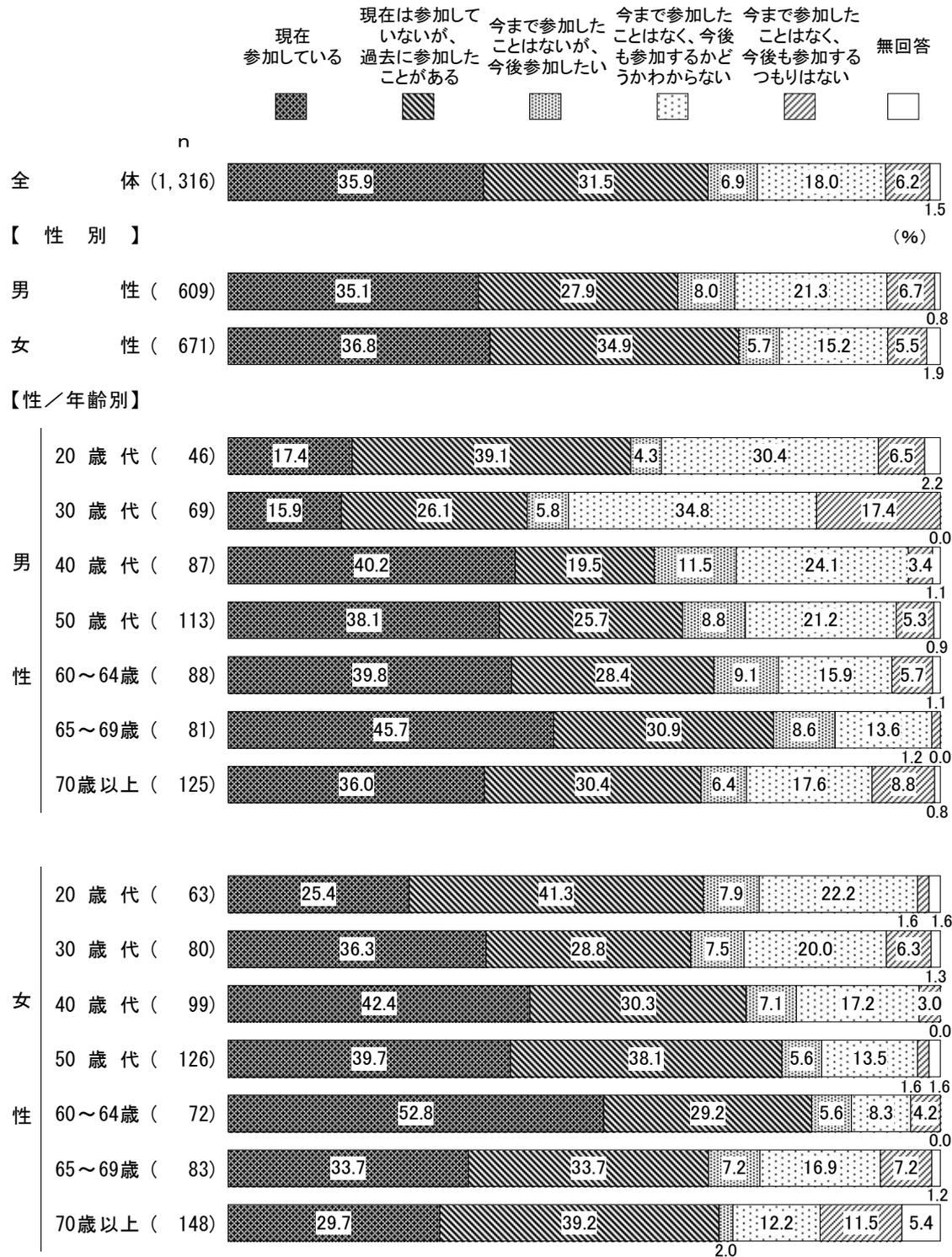
全体で見ると、「現在参加している」(35.9%)は3割半ばとなっている。「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」(31.5%)は3割を超え、「今まで参加したことはないが、今後参加するかどうか分からない」(18.0%)は2割近くとなっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、前回（平成26年）より「現在参加している」が6.9ポイント、「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」が6.5ポイント増加している。一方、前回（平成26年）より「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうか分からない」が5.8ポイント、「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」が5.7ポイント減少している。

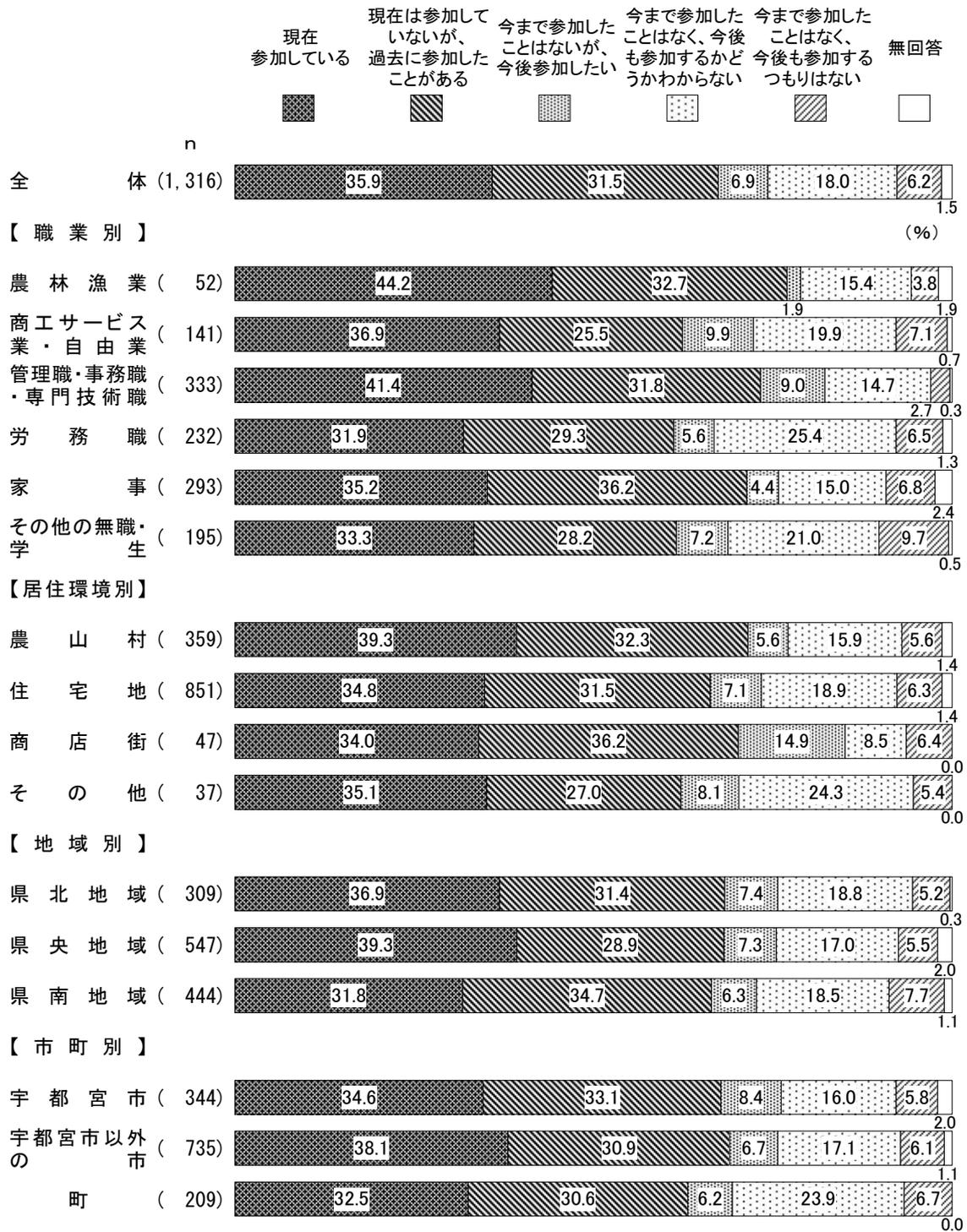
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」では〈女性〉(34.9%)が〈男性〉(27.9%)より7.0ポイント高くなっている。「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうか分からない」では〈男性〉(21.3%)が〈女性〉(15.2%)より6.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「現在参加している」では〈女性60～64歳〉が52.8%と高くなっている。「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうか分からない」では〈男性30歳代〉が34.8%、〈男性20歳代〉が30.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「現在参加している」では〈農林漁業〉が44.2%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が41.4%と高くなっている。

居住環境別でみると、「現在参加している」では〈農山村〉が39.3%と高くなっている。

地域別でみると、「現在参加している」では〈県央地域〉が39.3%と高くなっている。

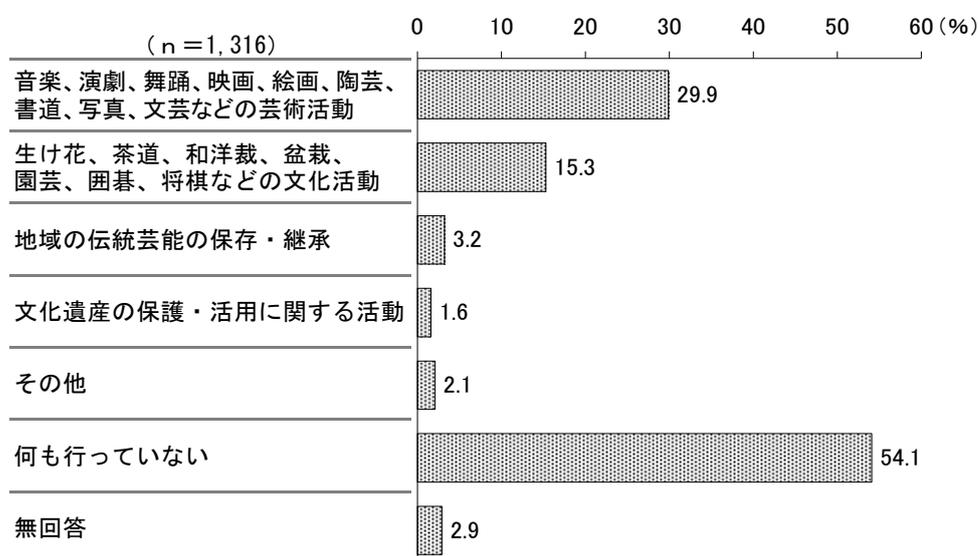
市町別でみると、「現在参加している」では〈宇都宮市以外の市〉が38.1%と高くなっている。

(2) 芸術・文化活動について

問7 あなたが日ごろ行っている芸術・文化活動は、どのようなものですか。
次の中からいくつでも選んでください。

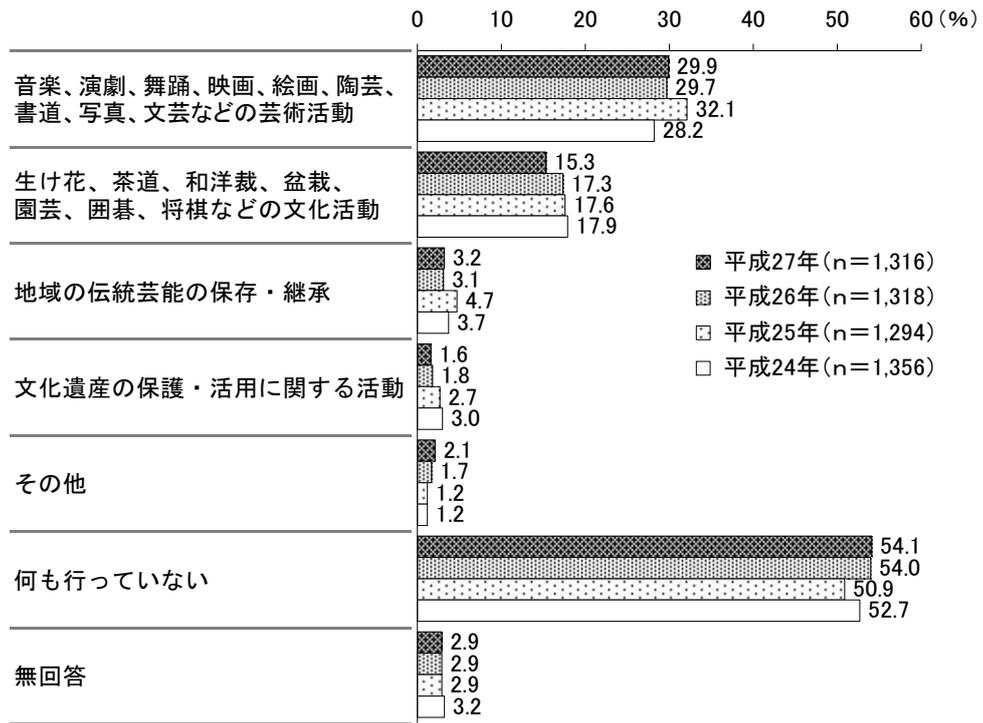
[n=1,316]

1	音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動	29.9%
2	生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	15.3
3	地域の伝統芸能の保存・継承	3.2
4	文化遺産の保護・活用に関する活動	1.6
5	その他	2.1
6	何も行っていない	54.1
	(無回答)	2.9



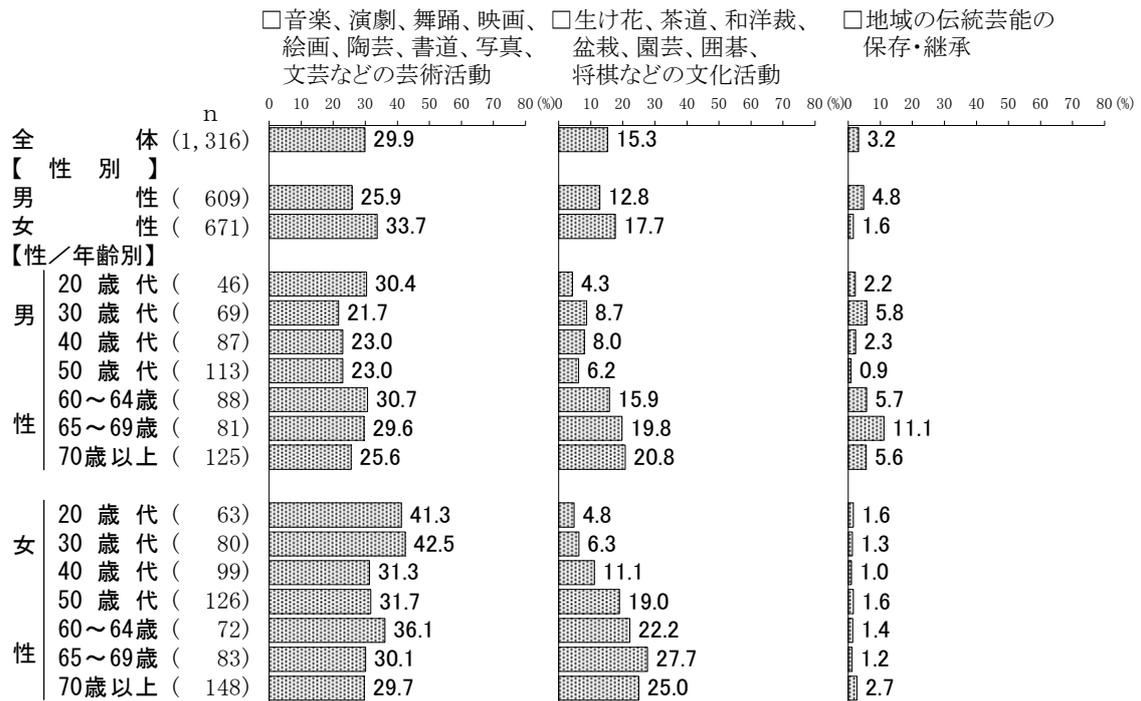
全体で見ると、「音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」(29.9%)が3割で最も高く、次いで「生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」(15.3%)が1割半ばとなっている。一方、「何も行っていない」(54.1%)は5割半ばとなっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、『文化活動』が前回（平成26年）より2.0ポイント減少している。

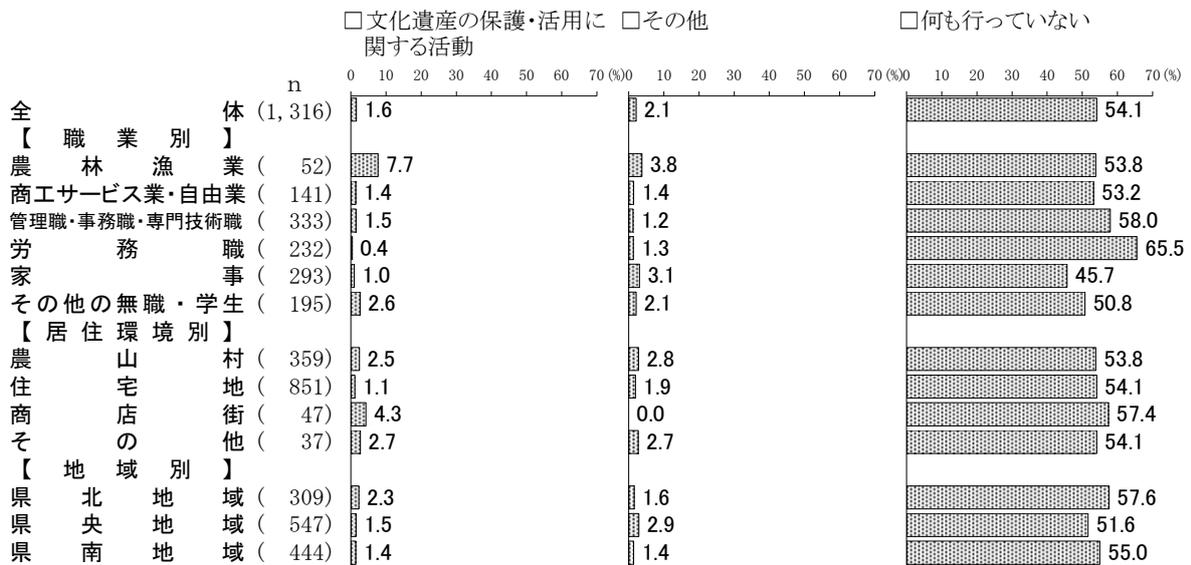
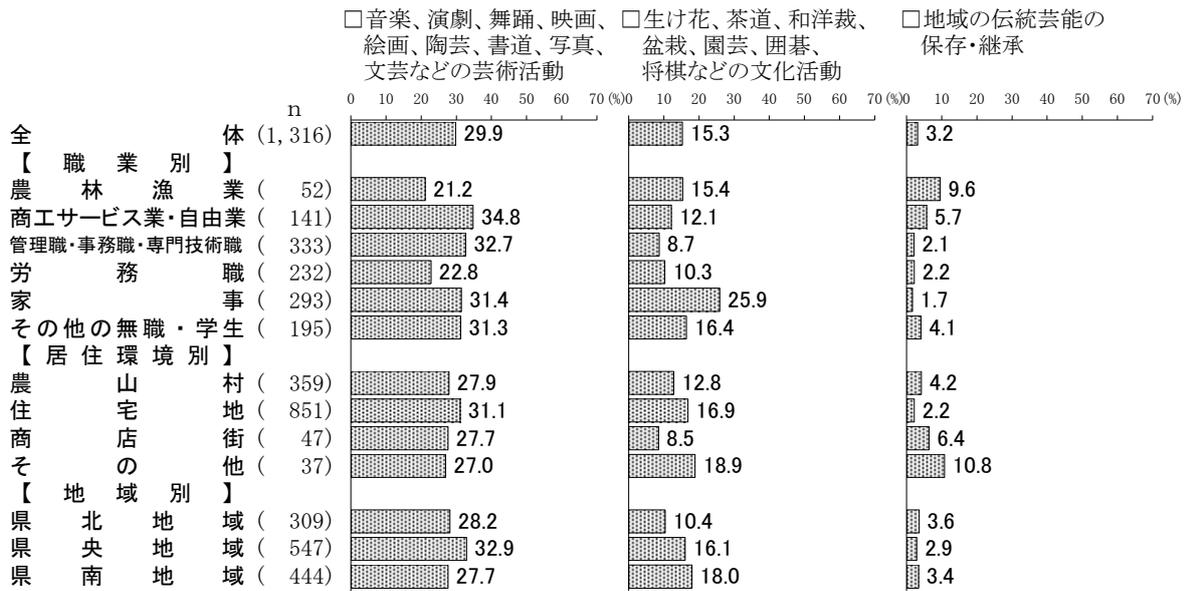
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『芸術活動』では〈女性〉(33.7%)が〈男性〉(25.9%)より7.8ポイント高く、『文化活動』では〈女性〉(17.7%)が〈男性〉(12.8%)より4.9ポイント高くなっている。「何も行っていない」では〈男性〉(58.6%)が〈女性〉(50.4%)より8.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『芸術活動』では〈女性30歳代〉が42.5%、〈女性20歳代〉が41.3%と高くなっている。『文化活動』では〈女性65～69歳〉が27.7%、〈女性70歳以上〉が25.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『芸術活動』では〈商工サービス業・自由業〉が34.8%と高くなっている。『文化活動』では〈家事〉が25.9%と高くなっている。「何も行っていない」では〈労務職〉が65.5%と高くなっている。

居住環境別でみると、『芸術活動』では〈住宅地〉が31.1%と高くなっている。

地域別でみると、『芸術活動』では〈県央地域〉が32.9%と高くなっている。

(3) スポーツ活動について

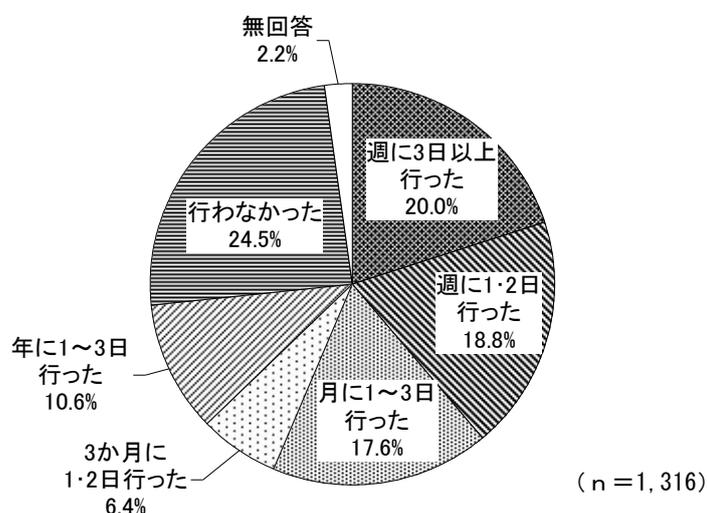
問8 あなたは、この1年間にスポーツ（※）を行いましたか。

次の中から1つ選んでください。

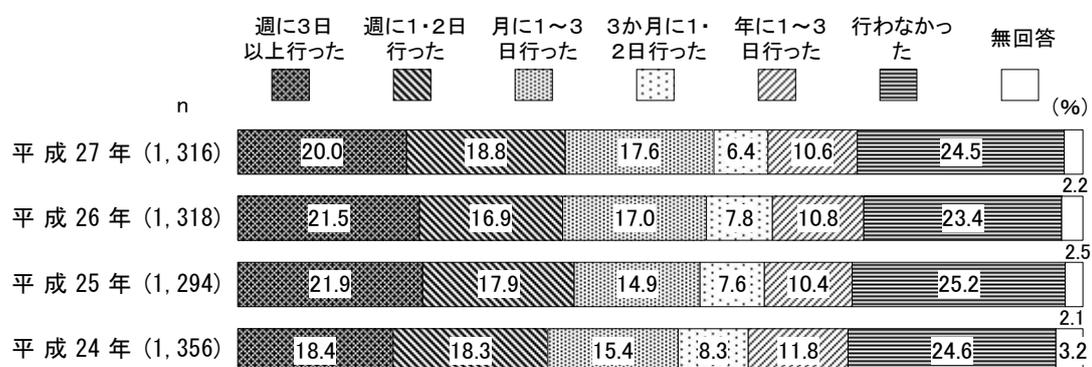
※ スポーツとは、ウォーキング、散歩、ダンス、ボウリング、ハイキング・キャンプなどのアウトドアスポーツ、軽い体操、レクリエーションスポーツを含みます。

[n=1,316]

1	週に3日以上行った	20.0%	4	3か月に1・2日行った	6.4%
2	週に1・2日行った	18.8	5	年に1～3日行った	10.6
3	月に1～3日行った	17.6	6	行わなかった	24.5
				(無回答)	2.2

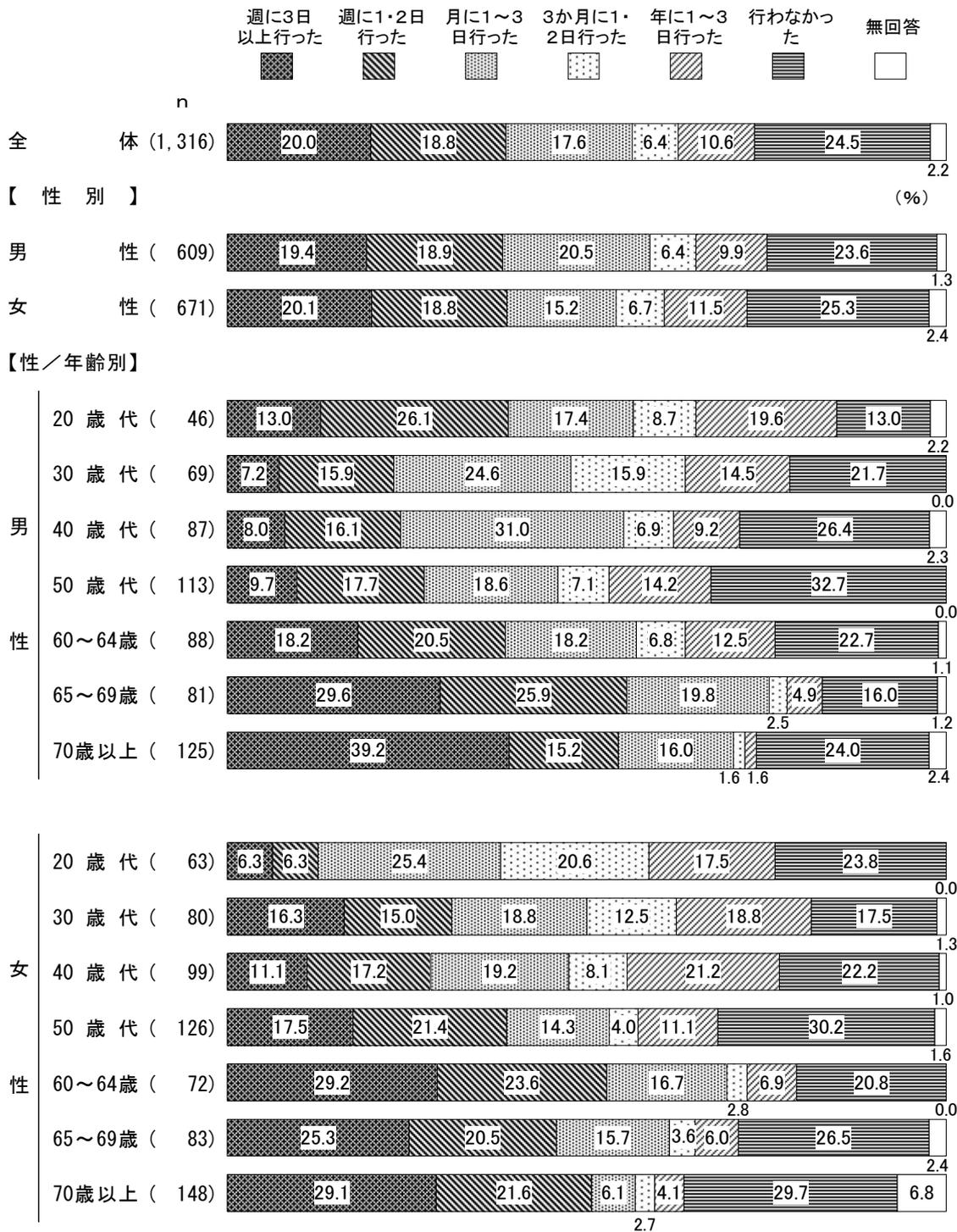


全体で見ると、「週に3日以上行った」(20.0%)は2割となっている。「週に1・2日行った」(18.8%)と「月に1～3日行った」(17.6%)はともに2割近くとなっている。一方、「行わなかった」(24.5%)は2割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

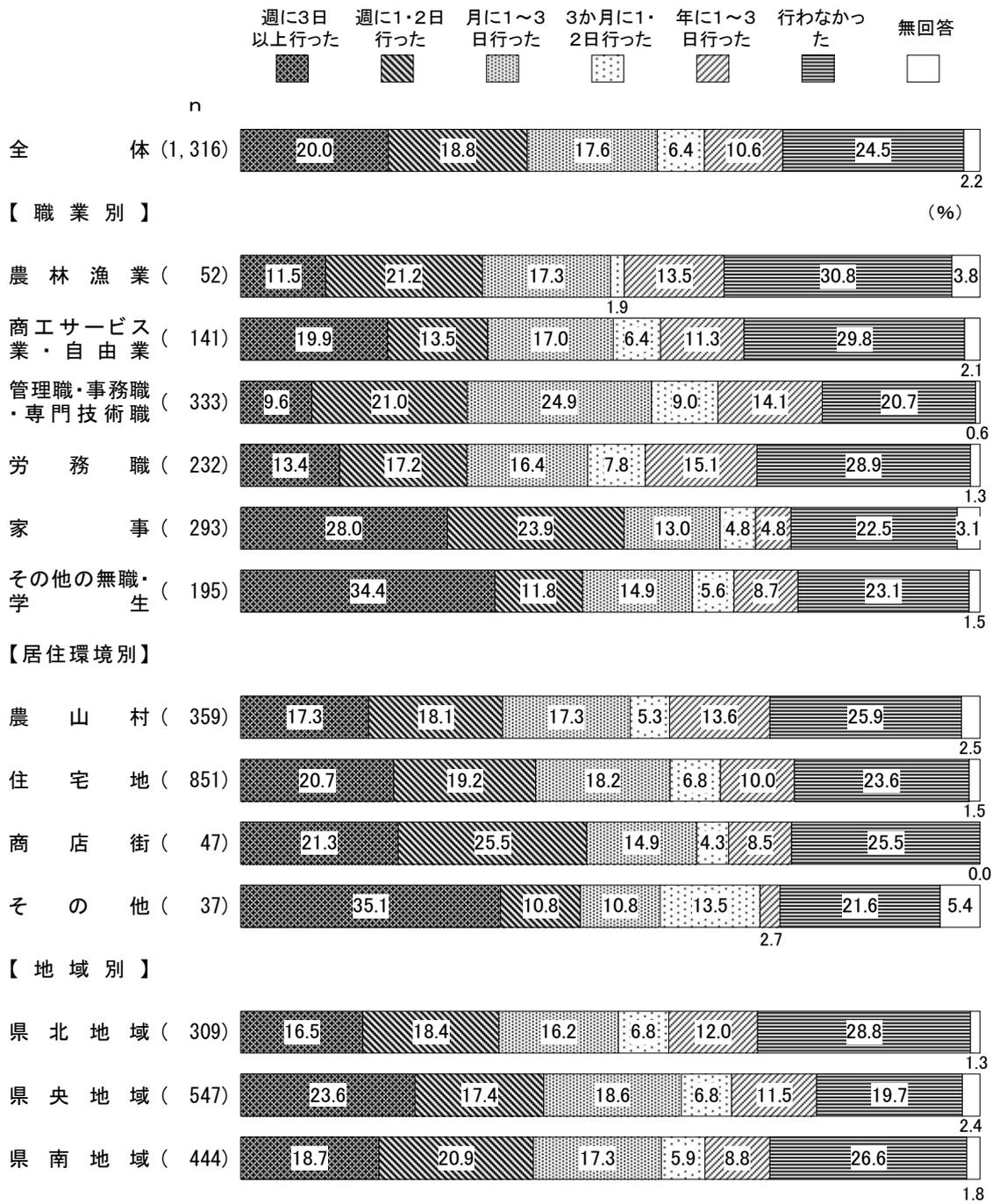
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「月に1～3日行った」では〈男性〉(20.5%)が〈女性〉(15.2%)より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「週に3日以上行った」では〈男性70歳以上〉が39.2%と高くなっている。「行わなかった」では〈男性50歳代〉が32.7%、〈女性50歳代〉が30.2%、〈女性70歳以上〉が29.7%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「週に3日以上行った」では〈その他の無職・学生〉が34.4%と高くなっている。

「月に1～3日行った」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が24.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「週に1・2日行った」では〈商店街〉が25.5%と高くなっている。

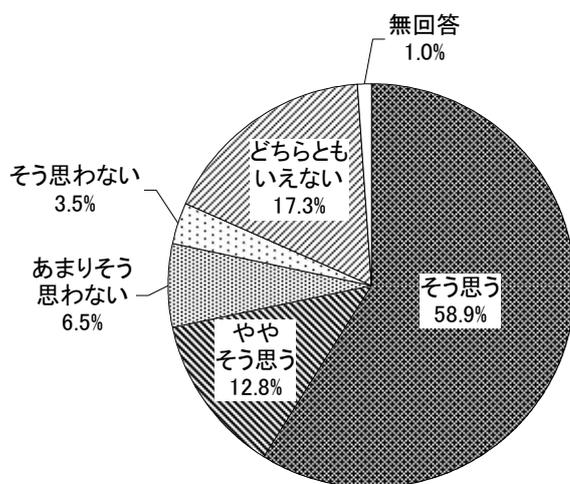
地域別でみると、「週に3日以上行った」では〈県央地域〉が23.6%と高くなっている。

(4) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。
次の中から1つ選んでください。

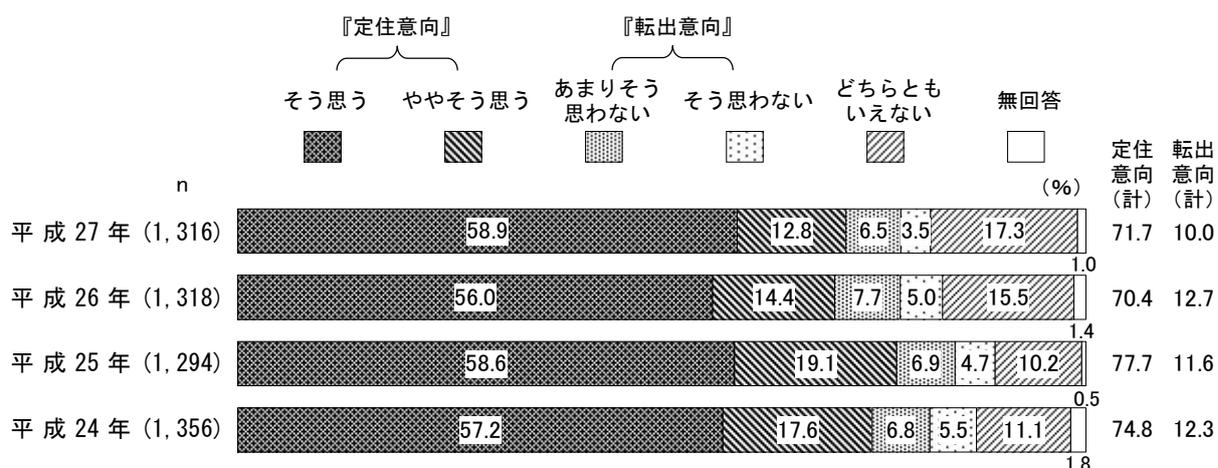
[n=1,316]

1	そう思う	58.9%	4	そう思わない	3.5%
2	ややそう思う	12.8%	5	どちらともいえない	17.3%
3	あまりそう思わない	6.5%		(無回答)	1.0%



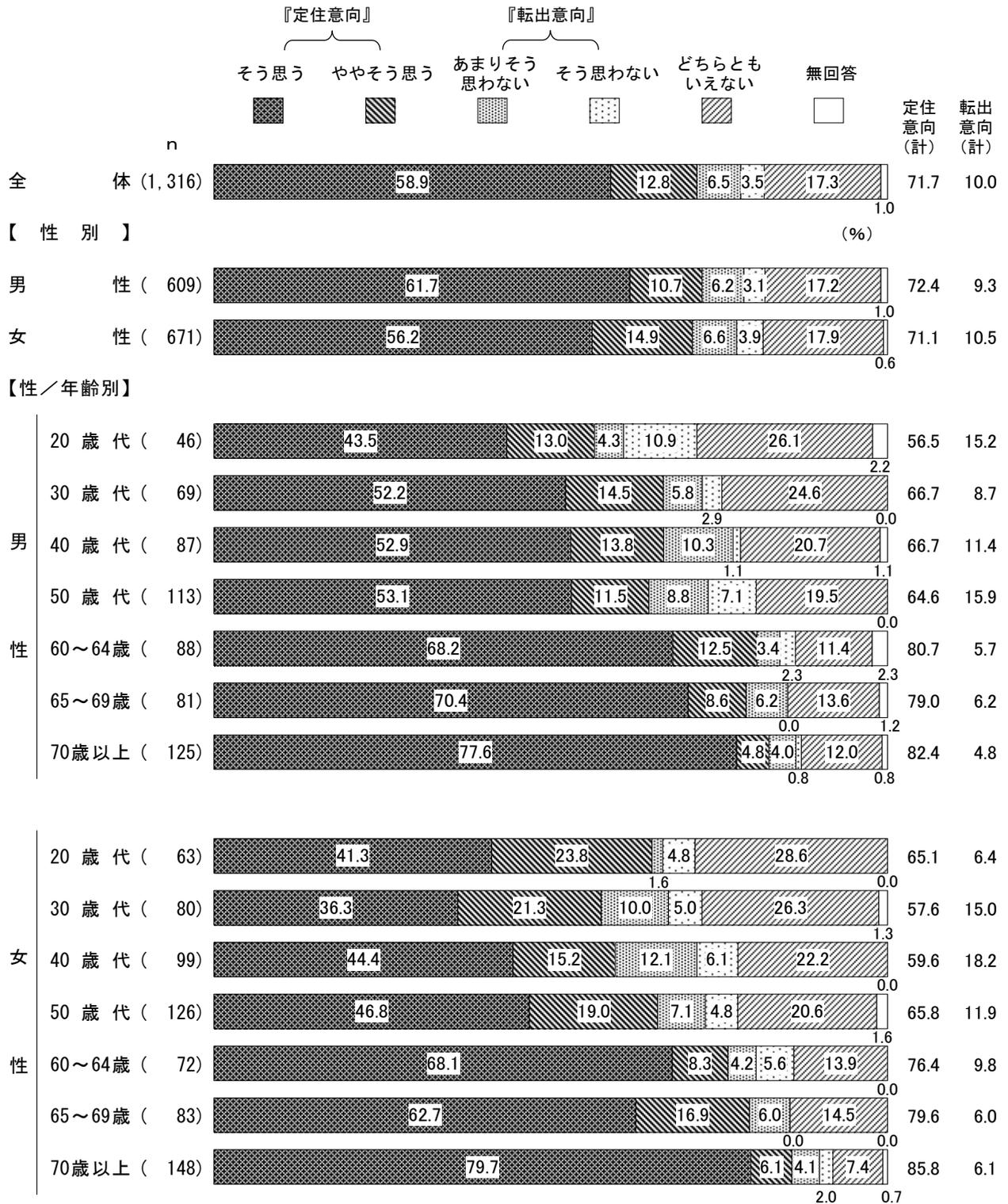
(n=1,316)

全体で見ると、「そう思う」(58.9%)と「ややそう思う」(12.8%)の2つを合わせた『定住意向』(71.7%)は7割を超えている。一方、「あまりそう思わない」(6.5%)と「そう思わない」(3.5%)の2つを合わせた『転出意向』(10.0%)は1割となっている。



過去の調査結果と比較すると、『転出意向』が前回(平成26年)より2.7ポイント減少している。

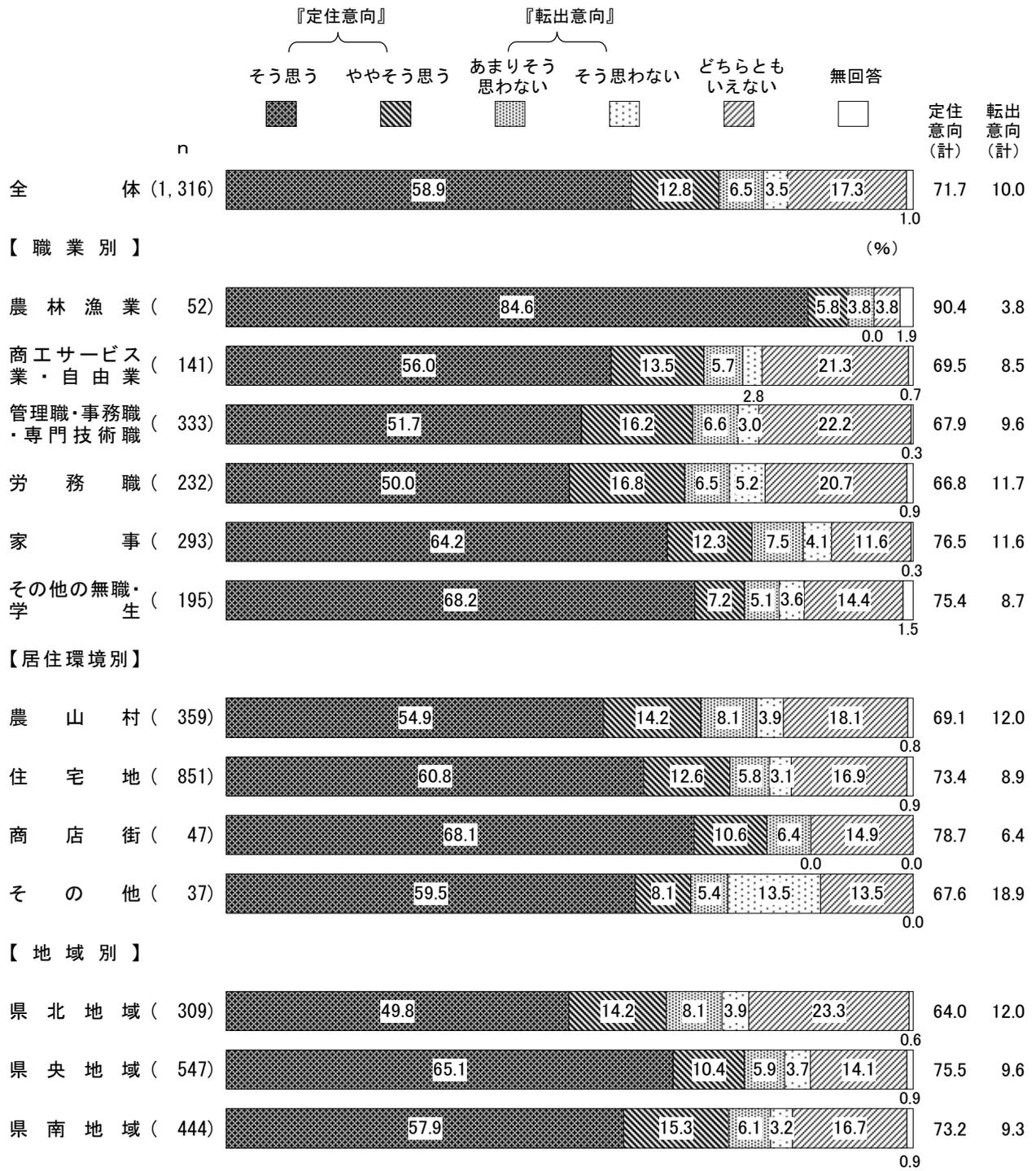
[性別・性／年齢別]



「そう思う」では〈男性〉(61.7%)が〈女性〉(56.2%)より5.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『定住意向』では〈女性70歳以上〉が85.8%、〈男性70歳以上〉が82.4%と高くなっている。『転出意向』では〈女性40歳代〉が18.2%と高くなっている。

〔職業別・居住環境別・地域別〕



職業別でみると、『定住意向』では〈農林漁業〉が90.4%と高くなっている。

居住環境別でみると、『定住意向』では〈商店街〉が78.7%と高くなっている。

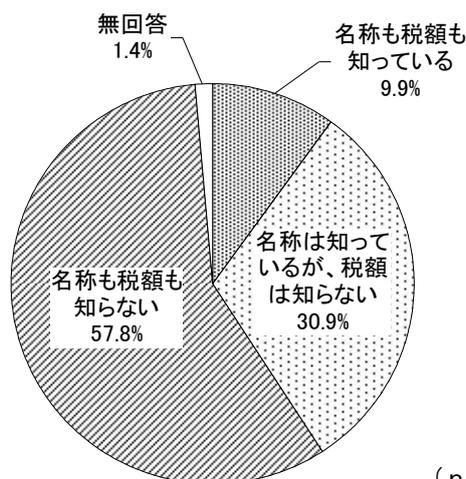
地域別でみると、『定住意向』では〈県央地域〉が75.5%、〈県南地域〉が73.2%となっており、〈県北地域〉(64.0%)に比べて高くなっている。

(5) 「とちぎの元気な森づくり県民税」について

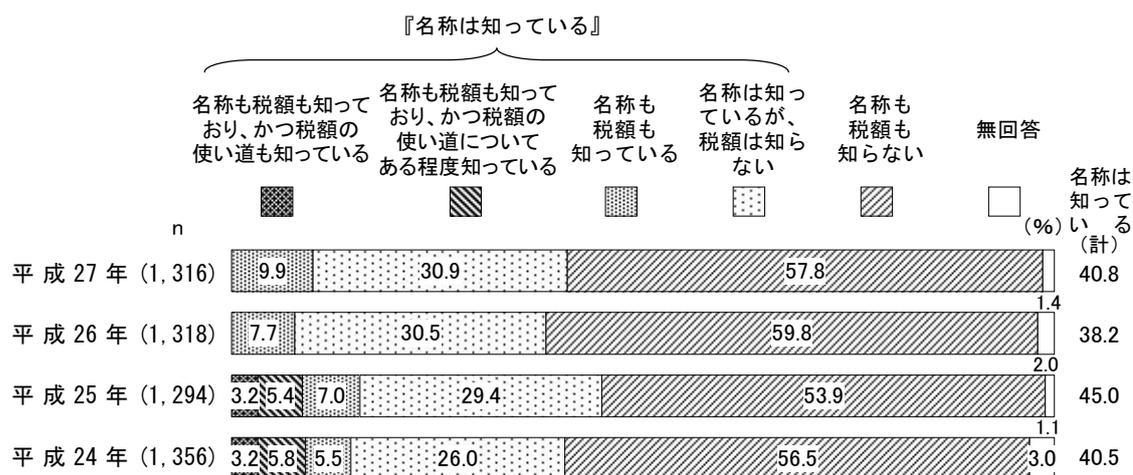
問10 あなたは、森林を守り育て、元気な姿で次の世代に引き継いでいくため、平成20年4月から本県で導入している「とちぎの元気な森づくり県民税」、いわゆる森林環境税を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,316]

- | | | | | | |
|---|-------------------|------|-------|------------|-------|
| 1 | 名称も税額も知っている | 9.9% | 3 | 名称も税額も知らない | 57.8% |
| 2 | 名称は知っているが、税額は知らない | 30.9 | (無回答) | | 1.4 |



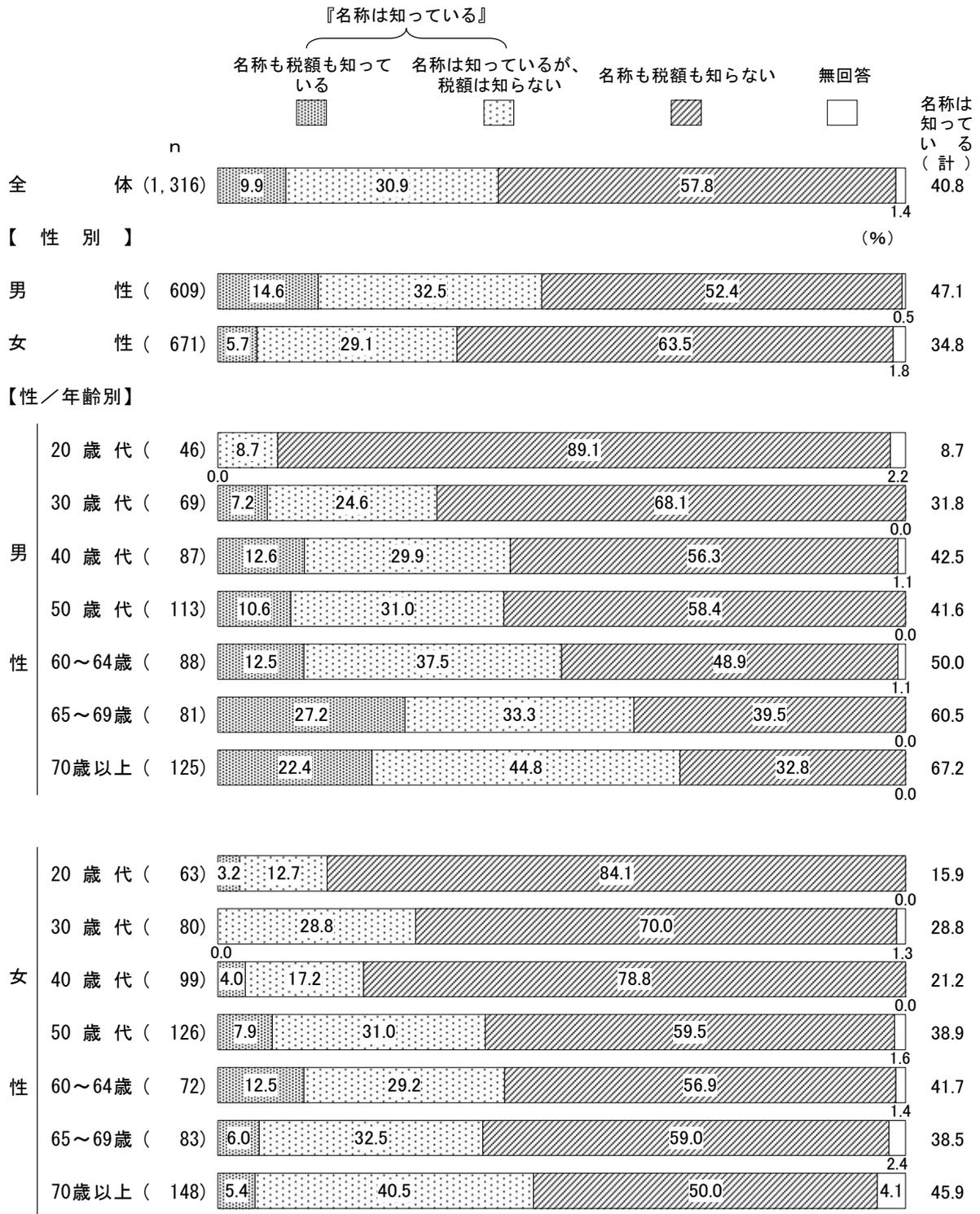
全体でみると、「名称も税額も知っている」(9.9%)は1割、「名称は知っているが、税額は知らない」(30.9%)はほぼ3割となっており、この2つを合わせた『名称は知っている』(40.8%)はほぼ4割となっている。一方、「名称も税額も知らない」(57.8%)は6割近くとなっている。



※「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道も知っている」と「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道についてある程度知っている」はともに平成25年調査まで聞いており、今回調査では選択肢に加えていない。
 ※平成24年・25年調査では、「名称も税額も知っている」は「名称と税額のみ知っている」としていた。

過去の調査結果と比較すると、『名称は知っている』が前回(平成26年)より2.6ポイント増加している。

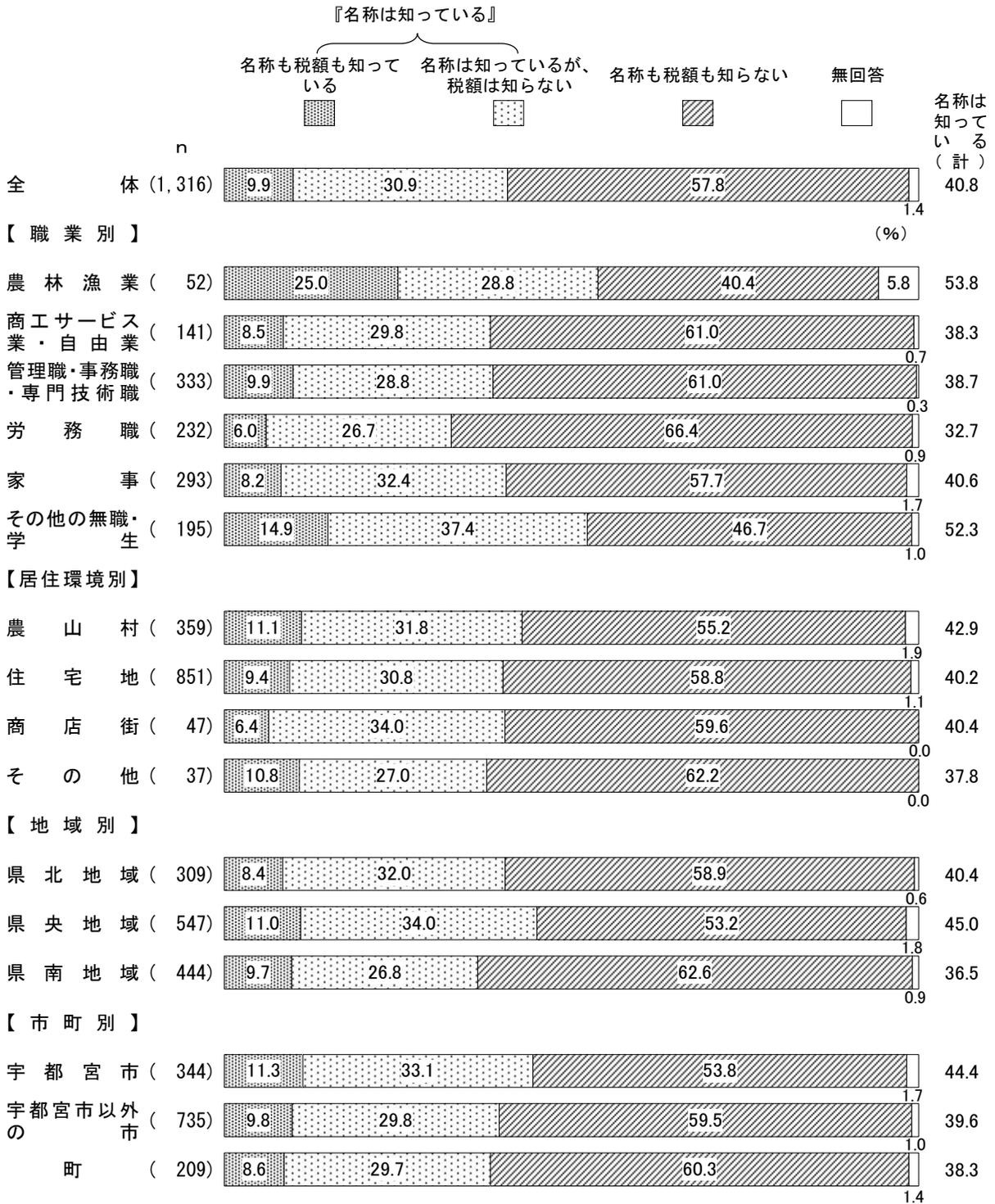
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『名称は知っている』では〈男性〉(47.1%)が〈女性〉(34.8%)より12.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『名称は知っている』では〈男性70歳以上〉が67.2%と高くなっている。「名称も税額も知らない」では〈男性20歳代〉が89.1%、〈女性20歳代〉が84.1%と高くなっている。

【職業別・居住環境別・地域別・市町別】



職業別で見ると、『名称は知っている』では〈農林漁業〉が53.8%、〈その他の無職・学生〉が52.3%と高くなっている。

居住環境別で見ると、『名称は知っている』では〈農山村〉が42.9%と高くなっている。

地域別で見ると、『名称は知っている』では〈県央地域〉が45.0%と高くなっている。

市町別で見ると、『名称は知っている』では〈宇都宮市〉が44.4%と高くなっている。